

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

| | |
|---|--|
| 会 議 名 | 令和4年度第3回武蔵村山市自立支援協議会 |
| 開 催 日 時 | 令和5年3月22日（水）午後1時30分 ～ 午後3時00分 |
| 開 催 場 所 | 市民総合センター3階 集会室 |
| 出 席 者 及 び 欠 席 者 | 出席者：高橋 毅、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、勝亦 圭子、押田 友紀子、武内 まゆみ、奥下 洋平、佐々木 久子、小尾 裕美、富田 眞貴子、加藤 恭子、田村 充子（計13名） 欠席者：椎木 俊秀、倉下 美和子、星 菜々絵、鈴木 正悦、馬場 均、平田 将太郎、下河邊 千草、溝口 睦子（計8名） 事務局：栗原課長、矢口係長、比留間主事、村山主事、 |
| 議 題 | 1 報告事項 (1) 令和4年度第1回、第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について (2) 令和5年度武蔵村山市自立支援協議会開催日程（案）について (3) 各部会からの報告 (4) その他 2 議題 (1) 「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画策定のための市民意識調査報告書」の報告について (2) その他 |
| 結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。) | 議題(1)については、質問、意見等がある委員は後日個別に障害福祉課まで問合せもらう。 |
| 審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ●会長 ○委員 ■事務局 | (事務局、各委員の自己紹介) 1 報告事項 (1) 令和4年度第1回、第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について (2) 令和5年度武蔵村山市自立支援協議会開催日程（案）について ●事務局より説明をお願いする。 ■（事前配布資料及び当日配布資料の確認） ■「(1)令和4年度第1回、第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について」及び「(2)令和5年度武蔵村山市自立支援協議会開催日程に（案）について」説明 ●何か質問、意見等はあるか。 ないようなので、次に移る。 |

(3) 各部会からの報告

(くらし安全部会から報告)

○令和4年の4月初めに開催した。現在のくらし安全部会の役員はグループホームの方や作業所の職員、障害当事者の親と、立場が全然違うため、このメンバーで行っていくのは、考え方ややっていく方向性がずれていると思われるので、その辺りをどうしていくかの話し合いをした。その模索をしている状況で、その後は新型コロナウイルスの影響で、話し合いも行えず現在に至っている。

- 他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(就労支援部会から報告)

○今年度の就労支援部会は5回程会議を行った。最初部会で何を行うかを話し合った際に、就労継続支援B型の部会員を増やしたいという意見やどうやって増やしていくのかという意見、何をすればよいのか、どうしていくのかという状態が2、3回と続き、これでは部会が成り立たないということで、活動内容と活動方針を作成した。本日資料はないが、地域に根付いた部会活動をしていく内容で、障害者の就労に向けての活動を行っていくことに決めた。それに基づいて具体的に何をしていくかを話し合った際に、部会員を増やすこともあるが、障害者の方になかなか情報が伝わっていない、届いていないという話が出て、B型作業所の情報が簡単に手に入れられるツールを作成したらどうかとい話になり、現在マップ作成をしている。第一案では、マップの中に事業所の場所を入れ込んで、QRコードでそれぞれの事業所のホームページにアクセスできる。支援者もこういう事業所があると、QRコードをかざして簡単に見せることができるマップを作成している途中である。本日、次の原案ができていく状況である。色々不満があるので、また修正をしていく段階である。検討中ではあるが、まず障害がある方にどういう風に働くについて考えてもらえるかに軸を置いて活動を決めていきたいと思っている。そのため令和5年度もマップ作成をしつつ、次の活動を考えていくと思う。

- 他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(地域相談支援部会から報告)

○地域相談支援部会は毎月第三火曜日の午後に7つの相談支援事業所が集まって話し合いを進めてきた。昨年度の活動の中から、事例検討を毎月行っていると、時間をそれにとられてしまうという意見があり、今年度は事例検討を隔月に行い、事例検討をしない月は、現在課題になっていることを話し合うということで、地域生活支援拠点のことや別の課題について話し合ってきた。来年度に向けて確定ではないが、折角事例検討をしているので、事例検討の中から見えてきた地域の課題を掘り下げていければという話になっている。

- 他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。
- 子ども支援部会についてはどうなっているのか。
- 今年度はまだ活動ができておらず、来週3月29日（水）に行う予定になっている。
- 自立支援協議会自体が開催できない中、活動していた部会もあれば、活動できなかった部会もあると思うが、令和5年度に向けてもう一度仕切り直しではないが、次回の5月の自立支援協議会の時に、各部会で令和5年度にどういった取り組みを行っていくかの事業計画を考えて報告していただきたい。自立支援協議会の下で活動している各部会が、自立支援協議会の車輪のような位置付けになっているので、改めて事業計画や活動目的等を話し合ってもらい、次回の自立支援協議会で報告してもらいたい。
- 何か質問、意見等はあるか。
- 4月20日開催のくらし安全部会に出席はしていないが、くらし安全部会の在り方について、この資料の中に、くらし安全という名称ではあるが、色々な事業部門が入っているため、くらしと安全に分けて、もっと細分化した方がよいのではないかという意見が出て部会は終了している。その後については、障害福祉課に相談はあったと思うが、コロナウイルスの関係があったため、話し合いは全然進んでいない。次回の自立支援協議会で事業計画を出すとなれば、くらし安全部会の部会員の編成についてもしっかり決まっていなければならない。
- 部会員の編成は決まっていないのか。
- 私は伺っていないが、最終的にくらし安全部会で、どういう構成員で行うのがよいのか、細分化した方がよいのかとの意見で終わっているので、その点がはっきりしていないにも関わらず、次回の自立支援協議会で事業計画を出すということになると、きちんと構成員があってそこで話し合いができていれば、可能だと思うがその辺りはどうか。
- 事務局より回答させていただく。担当からは、検討内容が多岐に渡るため細分化した方がよいという報告は受けている。4月になったら、メンバー構成や部会の検討内容も含めて、調整・検討させていただきそこで方向性を決めて、できるところまで内容を煮詰めて、次回の自立支援協議会の報告の中で、検討しているという状況、又は、ここまではできるという状況で報告させていただければと思う。4月早々に協議させていただければと思うがよろしいか。
- それは障害福祉課が主導で決めるということによろしいか。
- 5月に自立支援協議会を行うと会長から指示があったので、こちらから会議を設定し、今までの部会員を集めて行う。くらしと安全に細分化するのか、テーマを何にするのかで変わってくると思われるので、その辺りを4月に検討させていただきたい。

○了解した。

●もし、組織的に変更するようなことがあれば、5月の自立支援協議会で変更した内容を提案していただきたい。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(4) その他

●事務局から何かあるか。

■事務局からは特にない。

●ないようなので、次に移る。

2 議題

(1) 「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画策定のための市民意識調査報告書」の報告について

●事務局より報告をお願いする。

■『「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画策定のための市民意識調査報告書」の報告について』説明

●何か質問、意見等はあるか。

■本日資料を配布したため、すぐに質問は難しいと思われる。個別に何かあれば、障害福祉課まで問合せいただきたい。

●この報告書を基にして色々な課題があると思うが、今後3つの計画を令和5年度中に作成していくという流れでよいか。

■そのとおりである。

●そうすると、令和5年度の途中で作成状況を報告すると思うが、実際作成する部署は別の部署になるのか。

■部署としては、障害福祉課で作成する。

●ただ、策定委員というのは別にあるのか。

■庁内の様々な部署の課長職が参加する策定委員会を設けて、最終的に策定をして、作成した案を自立支援協議会に諮って意見をいただき、その意見をまた策定委員会に持ち帰り投げかけることを繰り返す方法を考えている。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

